

1. 研究テーマ

「正教文化圏における中世歴史遺産に関する研究」

2. 研究概要 (省略)

3. 活動報告

- 1) 夏季現地調査 (2003年8月5日～9月3日)
 - ・バリネシュティ聖ニコラエ聖堂実測調査
 - ・修復建築家ヨアナ・グリゴレスク インタビュー
- 2) 建築学会中部大会発表 (2003年9月5日)
「ルーマニア・モルドヴァ地方 バリネシュティ聖ニコラエ聖堂に関する研究1～3」
- 3) 中世建築研究会
 - ・第三回研究会 (2003年10月4日)
テーマ: 「修復建築家ヨアナ・グリゴレスクについて」
 - ・第四回研究会 (2003年11月15日)
テーマ: 「バリネシュティ聖ニコラエ聖堂調査報告」自身発表
「モルドヴァ地方の教会壁画」
- 4) 日本・ルーマニア世界遺産会議 2003 (2003年12月5日、6日)
- 5) 展覧会 「中世ルーマニアの文化遺産とヨアナ・グリゴレスクの世界」
日本建築学会建築博物館、会期; 12月4日～26日



Fig 1: バリネシュティ聖ニコラエ聖堂配置図 (2003年夏実測)



Fig 2: Ioana Grigorescu Interview



Fig 3: 展示図面



Fig 4: 展示会場

6) 個人研究

研究室発表 (2003年10月25日)

SFC Open Research Forum (湘南藤沢学会) 発表 (2003年11月20日)

* 1) は三宅研究室院生、東海大学院生・研究員との共同調査

* 4) 5) はルーマニアよりテレザ・シニガリア女史 (特別招聘教授) と三宅研究室院生、学部生、東海大学院生・研究員、学部生による共同企画・運営

4. 今学期の成果と今後の研究計画

今学期はこれまでの研究成果をシンポジウムにおける発表や展示企画を通して広く社会に公表することができた。バリネシュティにおける実測調査は三年目となり、これまでの基本図面、詳細部・発掘図面とあわせて配置図を作成したことで第一の目標点に達した。中世モルドヴァ地方の修道院文化と修復技術に関する基礎的研究においては、学生による展示設営を通して研究の土台となる知識が得られ、シンポジウムと併せて国内に広く研究の必要性を伝えることができた。個人研究テーマに関しては、Typology Mapの作成の前段階として、中世教会・修道院広域分布図を作成し、様々な歴史記録を整理して様式交流体系図とした。

今後はサンプルデータの統一と、教会タイポロジーの作成を目指す。様式交流のノードとしての役割を果たした中世歴史都市に関する基礎的研究も平行する。



Fig 5: 中世教会・修道院様式交流体系図

5. 今後の調査及び発表予定

- ・2004年度建築学会北海道大会発表 応募予定 (2004年4月)